

Pioneer sound.vision.soul



MDLP



7.0型ワイドタッチパネルTV/DVD-V/
MD/CD/チューナー・WMA/MP3対応・DSP
HDD AVナビオートサーバー

AVIC-ZH990MD

7.0型ワイドタッチパネルTV/DVD-V/
CD/チューナー・WMA/MP3対応・DSP
HDD AVナビオートサーバー

AVIC-ZH990

はじめに

準備

ナビゲーション

オーディオ機能

付録

入門編
スタートブック

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する

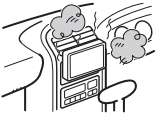


ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

注意

【使用方法】

モニター部にヒーターの熱などを当てない

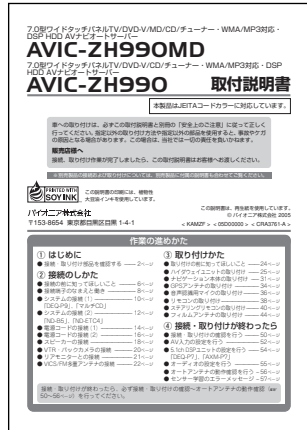


モニター部にエアコンのクーラーの冷氣やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

説明書のご利用方法

取付説明書

取り付けや接続を行うときにお読みください。機器構成の説明や他の機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



スタートブック (本書)

本機を使い始める前に、必ずお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、ナビゲーションやオーディオの基本的な使いかたを説明しています。



ナビゲーションブック

ナビゲーションの機能を活用したいときにお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。

オーディオブック

オーディオ(CD、WMA/MP3ディスク、MD、ミュージックサーバー、FM/AM)やDVD、テレビ、VTR(ビデオなど)を活用したいときにお読みください。オーディオやDVD、テレビ、VTR(ビデオなど)の全機能の使いかたを知ることができます。オーディオやDVD、テレビ、VTR(ビデオなど)の操作辞典としてご利用ください。

リビングキット 取扱説明書

リビングキットの機能を活用したいときにお読みください。



リビングキット 取扱説明書

本書はナビゲーションシステムの操作説明書として作成されています。本書はナビゲーションシステムの操作説明書として作成されています。

リビングキットとは
リビングキットとは、ナビゲーションシステムのメインユニット(ハードディスクの機能)を備えたナビゲーションシステムの機能拡張キットです。ナビゲーションシステムの機能拡張キットとしてご利用いただけます。ナビゲーションシステムの機能拡張キットとしてご利用いただけます。

インターネット接続について
本書はインターネットに接続して、インターネットを通じて各種データを取得する、接続機能についてはナビゲーションシステムの「ナビ」メニューから設定できます。
インターネットに接続するには、無線LANのLANアダプタ(USB接続またはBluetooth接続)またはインターネットに接続するための有線LANアダプタ(USB接続)が必要です。
無線LANのLANアダプタは、ナビゲーションシステムの機能拡張キットに付属していません。
インターネットに接続するには、無線LANのLANアダプタを接続し、ナビゲーションシステムの機能拡張キットの「ナビ」メニューから設定する必要があります。

パソコンとの接続について
本書はパソコンを接続してデータを取得する、ナビゲーションシステムの機能拡張キットの「ナビ」メニューから設定できます。







目録ページについて
ナビゲーションシステムの機能拡張キットの目録ページは、ナビゲーションシステムの機能拡張キットの「ナビ」メニューから設定できます。
目録ページは、ナビゲーションシステムの機能拡張キットの「ナビ」メニューから設定できます。
目録ページは、ナビゲーションシステムの機能拡張キットの「ナビ」メニューから設定できます。

©2013 Pioneer Electronics (Japan) Incorporated. All rights reserved.
Pioneer is a registered trademark of Pioneer Electronics (Japan) Incorporated.
Carrozzeria is a registered trademark of Carrozzeria Electronics (Japan) Incorporated.

ナビゲーションシステムは、著作権
およびパテントを侵害していません。
Pioneer Electronics (Japan) Incorporated.
Carrozzeria Electronics (Japan) Incorporated.

本書の見かた

本書の表記のしかた

| 表記 | 意味 |
|---|--|
|  | 注意マーク 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。 |
|  | メモマーク 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。 |
|  | リモコンマーク リモコンでの操作を説明しています。 |
|  | タッチキーを表します。 例： 確認 にタッチする |
|  | リモコンや本体についているボタンを、ボタン名称をもとに表します。 例： メニュー を押す |
| →斜体 | 参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例： →「はじめてお使いになるとき」(P32) |
|  | 続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。 |

メモ

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

How to Read

目次

| | | |
|---------|---|----|
| | 安全のために必ずお守りください | 2 |
| | 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください) | 3 |
| | 説明書のご利用方法 | 4 |
| | 本書の見かた | 6 |
| はじめに | 特長 | 9 |
| | ご使用前に知っておいていただきたいこと | 10 |
| 準備 | お使いになる前に | 14 |
| | 各部の名称とおもな働き | 14 |
| | リモコンの使いかた | 21 |
| | OELディスプレイについて | 22 |
| | 時計を表示する | 23 |
| | 準備をしましょう | 24 |
| | リモコンに電池をセットする | 24 |
| | ブレインユニットの入れかた・取り出しかた | 25 |
| | ナビゲーションの電源について | 30 |
| | はじめてお使いになるとき | 32 |
| | 画面の角度を調節する | 33 |
| | モニターを一時的に手前に倒す | 35 |
| | モニターを開閉する | 35 |
| | 音量を調節する | 36 |
| ナビゲーション | ここから操作します | 37 |
| | 基本的な操作のしかた | 37 |
| | いろいろな画面の操作のしかた | 39 |
| | ショートカットメニューを表示させる | 41 |
| | 地図の見かたや操作を覚えよう | 42 |
| | 現在地を表示させる | 42 |
| | 地図の動かしかた | 43 |
| | 地図の縮小、拡大 | 45 |
| | 地図の表示方法を変える | 48 |

Contents

ナビゲーション

| | |
|---------------------------|----|
| 自宅を登録しておこう | 49 |
| 自宅にいるときは | 49 |
| 行き先を決めてルートを案内させてみよう | 51 |
| スタートからゴールまでの流れ | 51 |
| 行き先を設定してルートを案内させる | 52 |
| 渋滞情報を確認する | 54 |
| 自宅に帰るルートを設定して案内させる | 56 |

オーディオ機能

| | |
|------------------------------|----|
| ディスクの入れかた・取り出しかた | 59 |
| オーディオ・テレビ・DVDなどの切り替えかた | 61 |
| 曲や放送局の切り替えかた | 62 |
| ミュージックサーバー (MSV) | 63 |
| ミュージックサーバーに録音する | 63 |
| ミュージックサーバーを再生する | 64 |
| 音を調節する | 65 |
| グラフィックイコライザー | 65 |
| SFC (サウンドフィールドコントロール) | 65 |

付録

| | |
|------------------------------|----|
| リビングキットについて | 66 |
| メモリー/通信カードの入れかた・取り出しかた | 67 |
| メモリーカード/通信カードの入れかた | 67 |
| メモリーカード/通信カードの取り出しかた | 68 |
| リセットについて | 70 |
| モニター、フロントパネルの正しい使いかた | 71 |
| ディスクの正しい使いかた | 72 |
| MDの正しい使いかた | 74 |
| ブレインユニットの正しい使いかた | 76 |
| 故障かな?と思ったら | 78 |
| 共通項目 | 78 |
| ナビゲーション | 80 |
| DVD | 81 |
| CD、WMA/MP3 | 81 |
| MD (AVIC-ZH990MD) | 81 |
| 3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ | 82 |
| お客様登録とアフターサービス | 84 |
| 仕様 | 87 |

Contents

特長

■ 検索/ルート探索

●「ジャンルワード検索」

探したい場所を、関連する語句(ジャンル)から検索できます。→『ナビゲーションブック』『ジャンルワードで探す』

●「渋滞予測ルート探索」

本機に収録された渋滞予測データとドライブ時の時刻を考慮して、所要時間になるべく少なくなるようなルートを探します。→『ナビゲーションブック』『渋滞予測ルートを探させる』

※ 渋滞予測情報は、インクリメントP株式会社よりVICS情報にリンク旅行時間情報が提供されている路線について提供されます。

●「ルートイコライザー」

渋滞予測データを考慮し、5つの条件(時間優先、距離優先、料金節約、幹線優先、学習優先)の優先度を調整できます。→『ナビゲーションブック』『渋滞予測ルートを探させる』

■ コンテンツ/通信

●「マップクリップ™」

地図の場所を2次元バーコード化して表示します。2次元バーコードに対応した携帯電話で撮影すれば、地図情報を外に持ち出すことができます。→『ナビゲーションブック』『マップクリップ™(2次元バーコード)を使う』

●「駐車場満空情報」

通信機器を使って、駐車場が検索できます。リアルタイムに駐車場の満空情報がわかります。→『ナビゲーションブック』『通信で探す(ライブマガジン/駐車場満空情報)』

●「オンデマンドVICS」

通信機器を使って最新の渋滞状況を把握できます。短い受信時間で、自車位置付近またはお好みの地点のVICS情報を取得します。→『ナビゲーションブック』『オンデマンドVICSで情報を取得する』

■ 地図表示

●「ソリッドシティマップ」

全国の主要都市を対象に、限りなく現実に近い都市空間を表現した三次元立体地図「ソリッドシティマップ」を採用しました。(→P48)

■ ミュージックサーバー&AV機能

●CD4倍速同時録再

高性能DSPの搭載により、CDを4倍速で録音します。標準的な音楽CD1枚を約15分で録音し、CD約200枚分(約2,000曲)が録音できます。(→P63)

●オートTA&EQ

車室内の音響特性を自動的に計測して、最適な特性に自動補正できます。→『オーディオブック』『車に合わせて音場を自動で補正する(オートTA&EQ)』

■ ホームユース

●リビングキット

ブレインユニットとリビングキットを利用して、家の中でもナビゲーションの基本機能の操作や、ミュージックサーバーの曲を聴くことができます。自宅で好きな音楽を聴きながら週末の天気・イベント情報などを通信で取得できます。(→P66)

●PCリンク

パソコンのハードディスクに保存しているMP3/WMAの音楽データをブレインユニットへ転送したり、インターネットで見つけた施設の地点を転送したりすることができます。

※ PCリンク機能を活用するためには、お手持ちのパソコンへの「PCリンク」ソフトウェアインストールや「MapFan.net」への契約が必要です。

※ 「PCリンク」ソフトは、インターネット上の専用サイトより無料でダウンロードできます。PCリンク機能の詳細は、別添いの「パソコンリンクのご案内」またはHDD「サイバーナビ」ホームページをご覧ください。

<http://www.hdd-cybernavi.com/>

ご使用前に知っておいていただきたいこと

はつめい

ご使用前に知っておいていただきたいこと

■ お使いになる地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは全て本機内蔵のハードディスクに保存されています。

DVD-ROMディスク(「DVDナビゲーションマップシリーズ」など)、CD-ROMディスク(「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など)は使用できません。

■ 現在地の表示について

初めて本機を使うときは、**現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自転車位置が大きくずれることがあります。故障ではありません。**しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自転車位置と現在地の誤差を補正する機能を備えているため、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、誤差が少なくなります。

■ 3Dハイブリッドセンサーについて

初めて本機をご使用になる場合、電源を入れると自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を開始します。3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、**自転車位置が更新されない、自転車位置や方向が正しくない(道路上にいないなど)、案内が出たり出なかったりする場合があります。故障ではありません。**初期学習が終了すると、高精度で自転車位置を測位することが可能になります。

■ 安全走行のために

- 走行中に運転者がナビゲーション操作をし画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。また、運転者がナビゲーションの操作を行う場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本製品には交通規制データが収録されておりますが、交通規制の変更等により、実際とは異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故の原因や道路交通法違反となることがあります。
- 緊急を要する施設(病院、消防署、警察など)の検索やルート案内については、本製品への依存を避け各該当施設へ直接ご確認ください。
- 本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやオーディオの一部のメニュー操作や地図の連続スクロールはできません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 道幅5.5m以上の道路を走行中は、細街路(5.5m未満の道路)を表示しません。

■ 昼間と夜間の色の違いについて

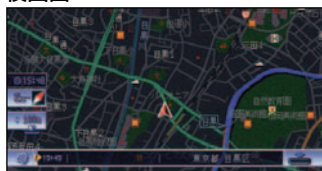
夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなる場合があります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。

例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り替えを車のヘッドライトのON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。

昼画面



夜画面



本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

■ バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



- 大気環境のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

■ 画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。

初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調節してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調節してください。

→『オーディオブック』

■ 携帯電話をお使いになるときは

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをモニターに近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

■モニターの液晶画面を保護するために

本機を使用しないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

→「モニター、フロントパネルの正しい使いかた」(P71)

■低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録(登録地)、登録道の新規登録、ミュージックサーバーへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

■ブレインユニットについて

ブレインユニットはご購入いただきました製品本体以外では使用しないでください。正しく動作しなかったり起動しない場合があります。

■著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

■バージョンアップについて

- 本機のバージョンアップは、ブレインユニットをお預かりして有償にてデータの書き換えをさせていただく方式と、ブレインユニットをリビングキットに装着しブロードバンド接続することにより有償にてデータを書き換える方法の2通りを予定しております。また、書き換える際には、お客様がご自身で本機に登録された情報内容については、配送中の衝撃などにより消去される可能性があるため情報内容の保証は致しかねます。予めご了承ください。登録地データに関してはCF型メモリーカードをご利用いただくことにより、保管していただくことができます。本機のバージョンアップの詳細については、弊社ホームページにてご案内させていただく予定です。また、本機ご購入後に登録手続きをしていただいたお客様に対してもご案内させていただく予定です(ご案内の送付に同意いただいた方のみ)。本機に同梱されている「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送またはインターネットからのご登録をお願い致します。
- ハードディスク(ブレインユニット)のお預かりによる書き換え作業は7日間程度を予定しておりますが、一時的に書き換え数量が集中した場合は、7日間を超える場合があります。ハードディスク(ブレインユニット)のお預かりによる書き換え作業中は、ナビゲーションおよび一部のオーディオ機器が使用できません。詳しくは29ページをご参照ください。

■お客様の登録されたデータについて

- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- 本機のバージョンアップおよび修理において、お客様の登録されたデータの保証についてはご容赦願います。
- 市販のCF型メモリーカードを利用すると、登録地点データを保管することができます。また、画像データを扱うことができます。
- ミュージックサーバーに録音された音楽情報については著作権法上バックアップを行うことはできませんのでご了承ください。

■長時間録音されたMD (MDLP) の再生について (AVIC-ZH990MD)

- 本機はMDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。
- MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。

■保証登録・アフターサービス

- 弊社からの本製品に関連する重要な連絡は「保証書発行兼お客様登録カード」をご返送またはインターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越し等により、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、お近くの弊社サービスステーションへご相談ください。

■パソコンリンクのご案内

リビングキットとパソコンとを市販のUSBケーブルで接続し、無料の専用ソフトウェアをパソコンにインストールしてご利用いただくことで、より便利にHDD[サイバーナビ]をお使いいただけるようになります。専用ソフトウェアの入手方法や機能の詳細などについては、HDD [サイバーナビ]ホームページ <http://www.hdd-cybernavi.com/> でご案内しております。

お使いになる前に

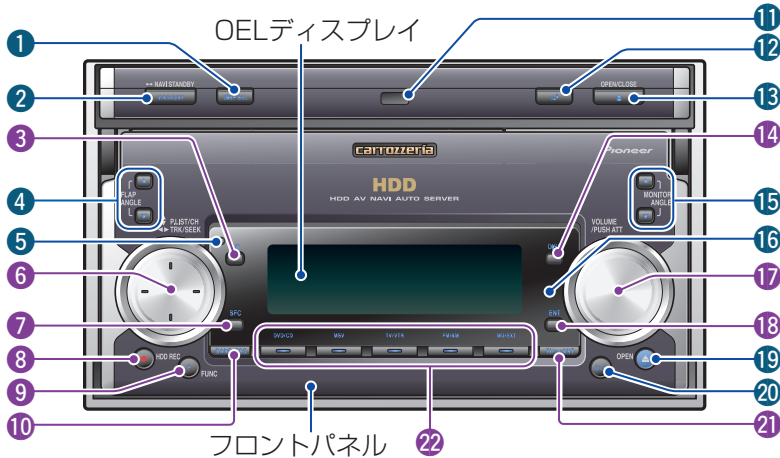
各部の名称とおもな働き

ナビゲーション本体、リモコン、ステアリングリモコン／音声認識用マイクの各部の名称と働きを説明します。ナビゲーション本体やリモコン、ステアリングリモコンで同じ名称のボタンは同じ動作をします。

■ナビゲーション本体

(例) AVIC-ZH990MD (AVIC-ZH990はMD再生機能を搭載していません。)

閉じている状態 (モニター、フロントパネル)



本体操作および共通操作

- ① **DISP SELボタン**
画面設定が表示されます。2画面など画面設定するときに使います。
- ② **V.AJUST (NAVI STANDBY) ボタン**
画面の画質を調節します。
長く押すとナビゲーションをスタンバイ(待機)状態にします。
- ④ **フラップアングルボタン**
▲/▼でフロントパネルの角度を調節します。
- ⑤ **リセットボタン**
マイコンをリセットします。
- ⑩ **外光センサー**
周囲の明るさを感知します。
- ⑫ **一時可倒ボタン**
モニターを一時的に水平にします。
- ⑬ **▲ (OPEN/CLOSE) ボタン**
モニターを開いたり、閉じたりするときを押します。
- ⑮ **モニターアングルボタン**
▲/▼でモニターの角度を調節します。
- ⑯ **リモコン受光部**
リモコン送信部をここに向けて操作します。
- ⑰ **OPENボタン**
フロントパネルの開閉を行います。



- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

- ⑳ **CLKボタン**
OELディスプレイに時計を約8秒間表示します。

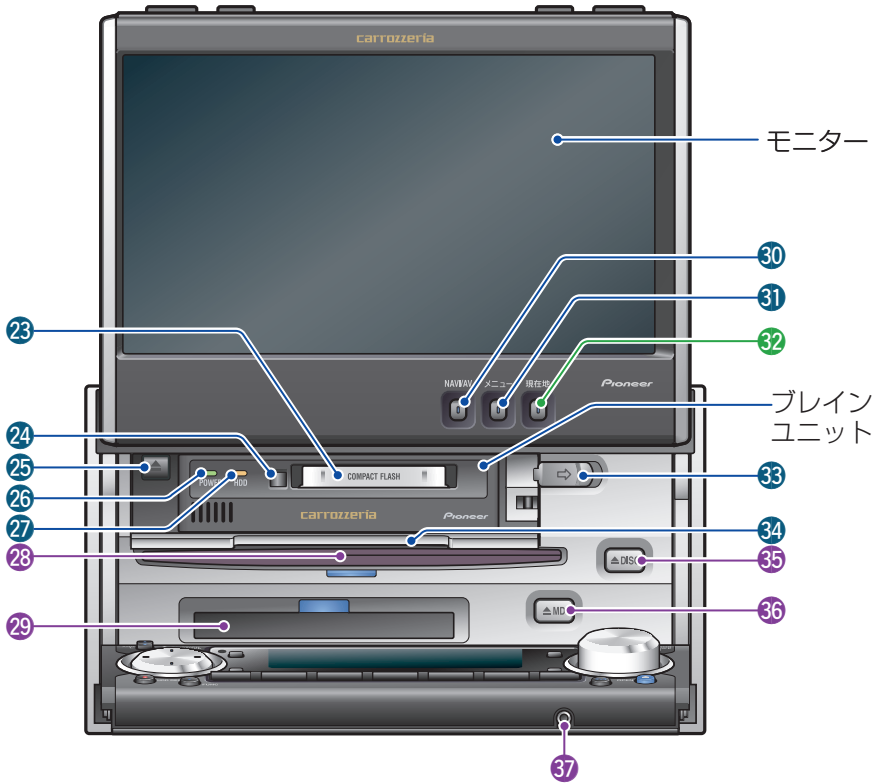
オーディオ操作

- ③ **EQボタン**
設定しているイコライザーカーブの名前を表示します。名前の表示中であれば、押すたびにイコライザーを切り替えます。
- ⑥ **▲/▼/◀/▶ボタン**
曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使用します。
- ⑦ **SFCボタン**
設定しているSFC (サウンドフィールドコントロール) の名前を表示します。名前の表示中であれば、押すたびにSFCを切り替えます。
- ⑧ **HDD RECボタン**
再生しているソースのミュージックサーバーへの録音開始または録音終了を行います。
- ⑨ **FUNCボタン**
OELディスプレイでのファンクションメニューを表示します。
- ⑫ **BAND/ESCボタン**
テレビやラジオのバンド (FM/AM) やメモリーを切り替えます。
- ⑭ **DISPボタン**
OELディスプレイに表示中のソース情報を切り替えます。長く押すとOELディスプレイに表示中のタイトルがスクロールします。
- ⑰ **ボリューム/ATTボタン**
左右に回してボリュームを調節します。ボタンを押すと音量が約1/10になります。
- ⑱ **ENTボタン**
OELディスプレイのエンタテインメント表示を切り替えます。
- ㉑ **TI/ANTボタン**
交通情報を受信します。長く押すとオートアンテナのON/OFFを設定します。
- ㉒ **ソースボタン**
各ソースを切り替えます。

開いている状態（モニター、フロントパネル、ブレインユニットカバー）

準備

各部の名称を
おもな働



本体操作および共通操作

- 23 **CF型カード挿入口**
カードを挿入します。
- 24 **CF型カード取り出しボタン**
カードを取り出すときに使います。

ご注意

- CF型カード内のデータを読み込んでいる間は、絶対にエンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にしたり、CF型カードを抜かないでください。
- 25 **ブレインユニット取り出しボタン**
ブレインユニットを取り出すときに使います。
- 26 **ブレインユニットPOWERランプ**
ブレインユニットの取り出しが可能か知らせます。
- 27 **ハードディスクアクセスランプ**
ハードディスクの読み込み、または書き込んでいるときに点灯します。
- 30 **NAVI/AVボタン**
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- 31 **メニューボタン**
ナビゲーション画面時は、メニューを表示します。
オーディオ画面時は、各ソースのAVメニューを表示します。
- 33 **スライドレバー**
ブレインユニットカバーを開きます。
- 34 **ブレインユニットカバー**
ブレインユニットを挿入、取り出す際に開きます。

ご注意

- 挿入、取り出し時以外は、必ずブレインユニットカバーを閉じてください。

ナビゲーション操作

- 32 **現在地ボタン**
ナビゲーションの現在地表示に切り替えます。

オーディオ操作

- 28 **ディスク挿入口**
DVDやCDなどを挿入します。
- 29 **MD挿入口** (AVIC-ZH990MD)
MDを挿入します。
- 35 **ディスク取り出しボタン**
DVDやCDなどを取り出すときに使います。ディスクが挿入されているときは、「▲DISC」が点灯します。
- 36 **MD取り出しボタン** (AVIC-ZH990MD)
MDを取り出すときに使います。MDが挿入されているときは、「▲MD」が点灯します。
- 37 **音響特性測定用マイク入力端子**
オートTA/EQを行うときに、付属の音響特性測定用マイクを接続します。

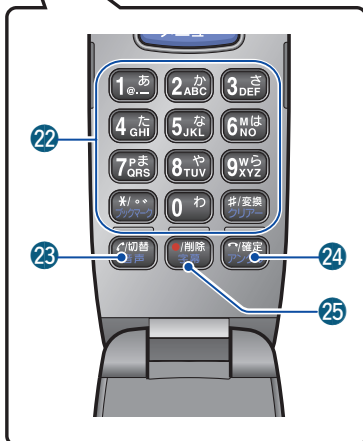
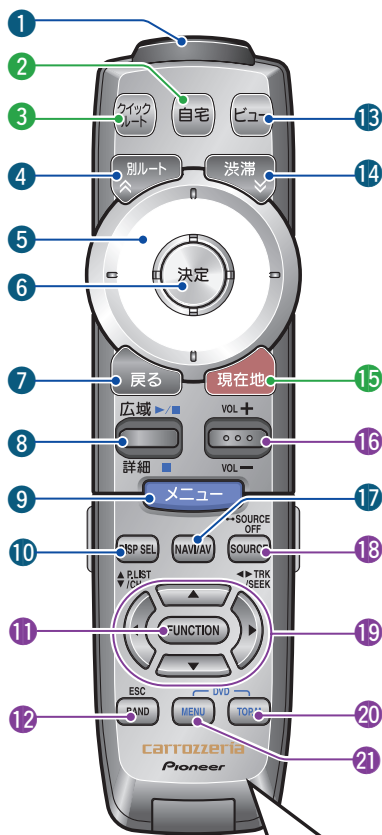
準備

各部の名称とおもな働き

■リモコン

準備

各部の名称とおもな働き



本体操作および共通操作

- ① **リモコン送信部**
ここからリモコンの信号が送られます。
- ④ **別ルートボタン**
すでに設定されているルートとは別のルートを探させるときに使います。リスト画面では、リストをページ送りします。
- ⑤ **ユニバーサルパッド**
地図の移動や項目の選択などに使います。
- ⑥ **決定ボタン**
項目の決定などに使います。地図画面ではショートカットメニューを表示します。
- ⑦ **戻るボタン**
一つ前の画面に戻るときに使います。
- ⑧ **スケールレバー**
ナビゲーション操作時は、地図のスケールを変えるときに使います。DVD操作時は再生や一時停止、再生停止に使います。
- ⑨ **メニューボタン**
ナビゲーション操作時は、メニューを表示します。オーディオ操作時は、表示中のソースの各AVメニューを表示します。
- ⑩ **DISP SELボタン**
画面設定が表示されます。2画面など画面設定するときに使います。
- ⑬ **ビューボタン**
ナビゲーション操作時は、地図表示のビュー切り替えメニューを表示します。長く押すと地図設定メニューを表示します。サイドマップ付きのリスト画面表示時は、地図と詳細情報の表示を切り替えます。オーディオ操作時は、ソースプレートやリストの表示/非表示を切り替えます。
- ⑭ **渋滞ボタン**
渋滞情報などの交通情報を見たいときに使います。リスト画面では、リストをページ送りします。
- ⑰ **NAVI/AVボタン**
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- ⑳ **10キー**
ナビゲーションの電話番号検索、携帯電話操作、文字入力などに使います。

⑳ オフフック/切替ボタン

電話をかけるときや受けるとき、文字種を切り替えるときに使います。DVD操作時は、音声言語を切り替えることができます。

㉑ オンフック/確定ボタン

電話を切るときや応答保留するとき、入力した文字の確定に使います。DVD操作時は、アングルを切り替えることができます。

㉒ 録音/削除ボタン

現在再生中のソースをミュージックサーバーへ録音開始または録音終了したり、入力した文字を削除するときに使います。DVD操作時は、字幕言語を切り替えることができます。

ナビゲーション操作

② 自宅ボタン

自宅を登録するときに使います。すでに自宅が登録されているときは、自宅までのルートを探します。

③ クイックルートボタン

クイックルート探索するときに使います。

⑮ 現在地ボタン

ナビゲーションの現在地表示に切り替えます。

オーディオ操作

⑪ FUNCTIONボタン

OELディスプレイのファンクションメニューを表示します。

⑫ BAND/ESCボタン

テレビやラジオのバンド（FM/AM）やメモリーを切り替えます。

⑯ ボリュームレバー

ボリュームレバーを+または-に倒し、音量を調節します。

⑱ SOURCEボタン

ソースを切り替えるときに使います。長く押すとソースをOFFにします。

⑲ ▲/▼/◀/▶ボタン

曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使います。

⑳ TOP.M (DVD) ボタン

DVDの最上位のメニューを表示します。

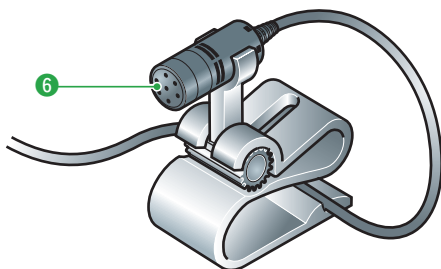
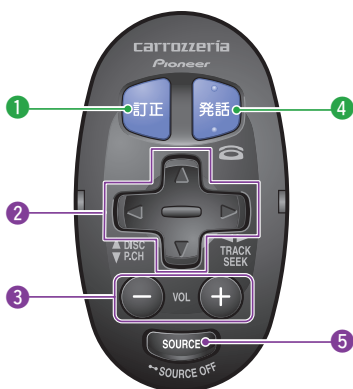
㉑ MENU (DVD) ボタン

DVDのディスクメニューを表示します。

■ステアリングリモコン/音声認識用マイク

準備

各部の名称とおもな働き



音声操作

① 訂正ボタン

音声での操作中に、直前の操作を取り消します。

電話着信時に応答保留できます。
ルートアドバイザーが操作できます。
VICsの割り込み表示が解除できます。

④ 発話ボタン

音声操作を開始します。ボタンを押してからマイクに向かって発話します。

電話を受けるまたは切ることができます。
ルートアドバイザーの操作ができます。

⑥ 音声認識用マイク

“④発話ボタン”を押したあと、このマイクを通してナビゲーション操作やオーディオ操作をします。ハンズフリー通話を利用する場合も、このマイクを使います。

オーディオ操作

② ▲/▼/◀/▶ボタン

曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使います。

③ 音量調節ボタン

音量調節ボタンの+/-で音量を調節します。

⑤ SOURCEボタン

ソースを切り替えるときに使います。
長く押しすとソースをOFFにします。

リモコンの使いかた

準備

リモコンの使いかた

■リモコンを向ける方向



リモコンの先端（送信部）をフロントパネルの受光部に向けて操作します。

ご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。

メモ

- 受光部に直射日光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。このような場合は、日光をさえぎってからリモコンを操作してください。

■ユニバーサルパッドの操作のしかた

本書で「ユニバーサルパッドを右側に操作する」と表記されているときは、ユニバーサルパッドの右側に触れます。「ユニバーサルパッドで項目を選び(決定)を押す」と表記されているときは、ユニバーサルパッドに触れ項目を選択して(決定)を押します。



ユニバーサルパッドの右側に触れます。



ユニバーサルパッドに触れ項目を選択する。



(決定)を押す。

OELディスプレイについて

OELディスプレイには、時計やエンタテインメント(動画)の表示のほか、オーディオ操作やAV設定の状態を表示できます(エラーも表示されます)。

表示は、本体の **DISP**、**ENT**、**CLK** で切り替えます。

→詳しくは、『オーディオブック』を参照してください。

メモ

- OELは有機EL (Organic EL) の略称です。
- OELディスプレイのデモ画面を解除するには「OEL(OrganicEL)設定」で、「ソースOFF画面」を「クロック」または「OFF」に設定します。→『オーディオブック』

■エンタテインメント表示を切り替える

ENTとはエンタテインメント表示のことで、OELディスプレイに動画やレベルインジケータなどの楽しさを演出する表示、時計などを表示する機能です。

ENT を押す

ボタンを押すごとに以下のようにエンタテインメントの種類が切り替わります。
通常画面→BGV1→BGV2→MOVIE1→MOVIE2→MOVIE ALL→アナログパワーメーター→レベルインジケータ→スぺアナ1→スぺアナ2→スぺアナ3→スぺアナALL→オートサウンドレバライザー→クロック→通常画面に戻る
例：MOVIE1



メモ

- 本機に5.1ch対応・DTSユニット「DEQ-P9」を接続してDTSコンテンツの収録されたDVDディスクを再生したときは、「アナログパワーメーター」「レベルインジケータ」「スぺアナ」が表示されません。

■AV表示を切り替える

AV操作中にソース情報を切り替える機能です。

DISP を押す

ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



時計を表示する

CLK を押すと、OELディスプレイに時計を約8秒間表示できます。



メモ▶

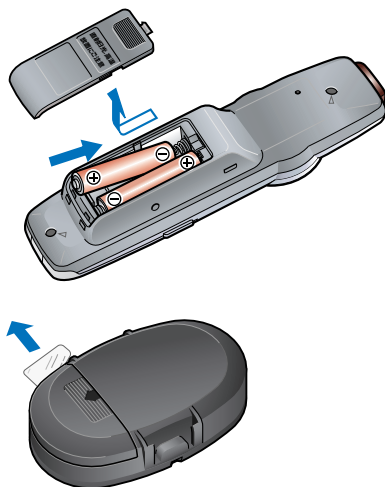
- GPS衛星より時刻情報を受信して本機の時計を合わせているので、時報などを利用して時刻を合わせる必要はありません。
- AV操作中に時計を表示したいときは、エンタテインメント表示を「クロック」に切り替えてください。→「エンタテインメント表示を切り替える」(P22)
- ソースのOFF時に時計を表示したいときは、「OEL(OrganicEL)設定」で、「ソースOFF画面」を「クロック」に設定します。→『オーディオブック』

準備

時計を表示する

準備をしましょう

リモコンに電池をセットする



リモコン

裏ブタをはずして、単4形アルカリ乾電池 (LR03) 2本をセットします。

ステアリングリモコン

電池はあらかじめセットされています。裏側より、透明の保護フィルムを引き抜くと使えるようになります。

メモ

- 電池の交換が必要なときは、裏ブタをはずして、リチウム電池 (CR2032) の (+) 側を上にしてセットします。

ご注意

- リモコンやステアリングリモコンを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

メモ

- 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- リモコンやステアリングリモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなったり、地図のスクロール速度や反応が鈍くなったりしたときは、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池などのご使用をおすすめします。

ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

ブレインユニットにはカーナビの心臓部であるカーコンピューターとハードディスク、CF型カード挿入口が搭載されています。まず、ナビゲーション本体にブレインユニットを取り付けてご使用ください。

ブレインユニットをナビゲーション本体から取り外し、付属のリビングキットで使用すれば、部屋でナビゲーション機能やミュージックサーバーなどを楽しむことができます。→「リビングキットについて」(P66)

ご注意

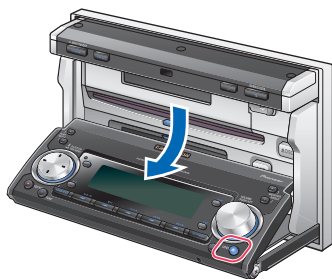
- ブレインユニットにCF型カードなどを入れたまま持ち運ぶと、カードに物が当たり、衝撃が加わることでカードや本体を破損する恐れがあります。
- ブレインユニットはモニターが閉じている状態で挿入や取り出しをしてください。挿入の際、立ち上がっているモニターの底面にブレインユニットが接触し落とすと、パネルやブレインユニットが破損する恐れがあります。
- ブレインユニットを持ち運ぶときは必ず専用のキャリングケースに入れてください。落下や衝撃によりブレインユニットが破損する恐れがあります。
- 急激な温度変化を与えると、結露が生じ、異常の原因となります。自然に結露の状態がなくなるまで使用しないでください。

準備

ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

■ブレインユニットの入れかた

1



OPEN を押す

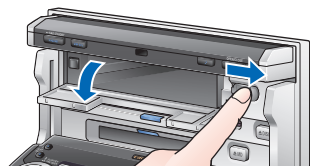
フロントパネルが開きます。



手を触れないよう注意

- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

2



スライドレバーをスライドし、ブレインユニットカバーを開く

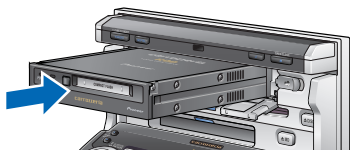
ブレインユニット挿入口があらわれます。

3



キャリングケースからブレイユニットを取り出す

4

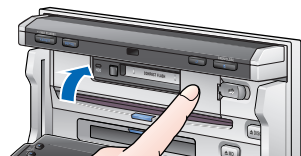


ブレイユニットをカチッと音がするまで差し込む

メモ▶

- ブレイユニット取り出しボタンが出ていないことを確認してから、ブレイユニットを差し込んでください。

5

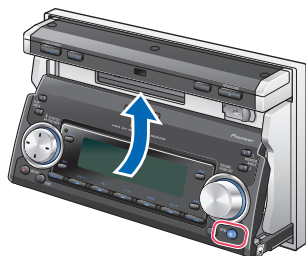


ブレイユニットカバーを閉じる

メモ▶

- ブレイユニットが奥まで差し込まれていることを確認してから、カバーを閉じてください。
- ブレイユニット取り出しボタンが出ていないことを確認してから、カバーを閉じてください。

6



OPEN を押す

準備

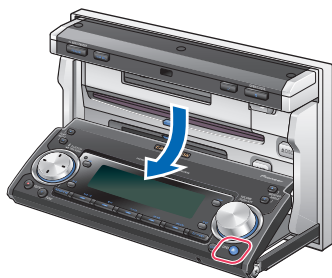
ブレイユニットの入れかた・取り出しかた

■ブレインユニットの取り出しかた



- エンジンスイッチをOFFにした後、ブレインユニットを取り出せるように、約30秒間は、フロントパネルの操作を待ち受けしています（**OPEN**を押すたびに待ち受け時間が最長で3分まで更新されます。）。待ち受けの間にフロントパネルを開けた場合は、手動でフロントパネルを閉じてください。

1



OPEN を押す

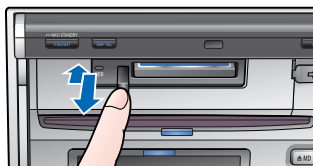
フロントパネルが開きます。



手を挟まないよう注意

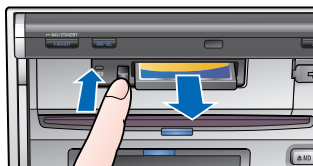
- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

2

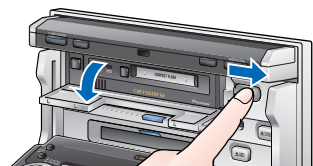


CF型カードを取り出す (→P68)

ブレインユニットにCF型カードが差し込まれている場合は、ブレインユニットを取り出す前に、CF型カードを取り出してください。



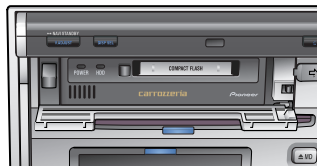
3



スライドレバーをスライドし、 ブレインユニットカバーを開く

ブレインユニットがあらわれます。エンジンスイッチがON(本機の電源がON)の状態ではブレインユニットカバーを開けると、ブレインユニット前面のブレインユニットPOWERランプが点滅を始めます。点滅が終了し、ランプが消灯したらブレインユニットを取り出すことができます。

4



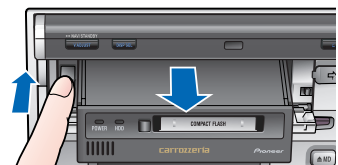
ブレインユニットPOWERランプが消灯していることを確認する

5



ブレインユニット取り出しボタンを押し、ボタンが出てきたらもう一度押す

ブレインユニットが出てきます。



6

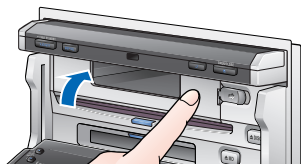


キャリングケースにブレインユニットを入れる

ご注意

- 取り出しの際、ブレインユニットの落下や衝撃にご注意ください。

7

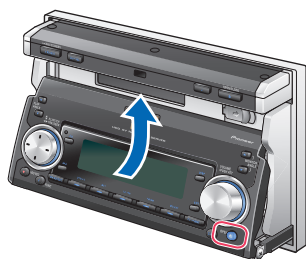


ブレインユニットカバーを閉じる

メモ

- ブレインユニット取り出しボタンが出ていないことを確認してから、カバーを閉じてください。

8



OPEN を押す

準備

ブレインユニットの入れかた・取り出しかた

■ブレインユニットを取り出した場合の制限事項

次の機能が使用できなくなります。

| 機能 | 制限されること |
|------------------|--|
| タッチパネル | |
| ナビゲーション | |
| DVD、CD、WMA/MP3 | すべての操作ができません。 |
| ミュージックサーバー | |
| 音声認識 | |
| テレビやラジオ | <ul style="list-style-type: none"> •エリアプリセット •放送局名表示 |
| ピクチャーサイドピック | |
| チャー、ピクチャーインピクチャー | 2画面表示 |
| 携帯電話 | <ul style="list-style-type: none"> •ハンズフリー通話 •データ通信 |
| OELディスプレイ | 時計表示 |

■ブレインユニットを取り外したときの設定内容について

次の設定は、ブレインユニットを取り出す前の内容を記憶しています。

- システム設定
- オーディオ設定
- 画質設定



- 本機にディスクが入っている場合、取り出すことはできません。再度ブレインユニットを入れて、ディスクを取り出してください。

ナビゲーションの電源について

■電源の入れかた・切りかた

本機の電源は、車のエンジンスイッチをONにすると自動的に入り、エンジンスイッチをOFFにすると電源も切れます。

◆注意

- 本機は、エンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にするとフロントパネルが自動的に傾いていない状態に戻ります。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。
- 本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

◆メモ

- ナビゲーションのみの電源を切ることはできません。
- 本機をオートアンテナ装備車に取り付けた場合は、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してオートアンテナが上がる場合があります。屋内ではご注意ください。→『オーディオブック』
- オートアンテナ装備車またはアンテナブースター電源装備車以外では常にオートアンテナの設定（→『オーディオブック』）をONにしておいてください。OFFに設定するとFM/AMラジオの受信ができなくなる場合があります。（車載のアンテナをVICS/FM多重アンテナ接続端子に接続した場合、VICS/FM多重放送も受信できなくなります。）オートアンテナは、**TI/ANT** を長く押しごとにON（上げる）とOFF（下げる）に切り替わります。

■モニターの自動開閉機能について

モニターは、自動開閉機能により次のように動作します。

車のエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。

◆メモ

- 自動開閉機能を、手動（マニュアル）に設定できます。→『オーディオブック』「オートフラップ設定」
手動（マニュアル）に設定した場合は、モニターは自動で立ち上がりません。**△(OPEN/CLOSE)** を押して、立ち上げてください。
- 本体にモニターを収納して車のエンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にしたときは、再びエンジンスイッチをONにしても、モニターは立ち上がりません。**△(OPEN/CLOSE)** を押して立ち上げてください。
- モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、モニターの角度を調節してください。→「画面の角度を調節する」(P33)
- 立ち上がったモニターを後ろに下げることもできます（セットバック）。
→『オーディオブック』「オートフラップ設定」

■スタンバイ機能について

モニターの画面やナビゲーションの音声案内を消すことができます。モニターがまぶしいときや、オーディオだけ聞きたいときなどに使います。

7

V.ADJUST(NAVI STANDBY) を長く押す



- スタンバイ状態でもバックカメラの映像やOELディスプレイは表示されます。

解除方法

次の方法でスタンバイ機能は解除されます。

- 画面にタッチする
- エンジンスイッチのOFF/ON
- **V.ADJUST(NAVI STANDBY)** を押す
- **NAVI/AV** を押す
- **メニュー** を押す
- **現在地** を押す

準備

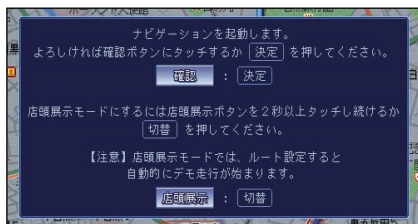
ナビゲーションの電源について

はじめてお使いになるとき

下の確認画面は、3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終わっていないときにエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にすると、表示されます。下の画面が表示されたときは、次のように操作します。

準備

7



確認にタッチするリモコンの**決定**を押す

メモ

- 店頭展示モードは店頭でのデモンストレーション用のため、**店頭展示**をタッチしたり、**オフック/切替**を押したりしないでください。
- 3Dハイブリッドセンサーは自車位置を高精度に測位するための機能の一つです。3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、**自車位置が更新されない、自車位置や方向が正しくない（道路上にいないなど）、案内が出たり出なかったりする場合がありますが、故障ではありません。**初期学習が終了すると、高精度で自車位置を測位することができるようになります。
→エラーメッセージが表示されたときは、「3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ」(P82)を参照してください。

はじめてお使いになるとき

画面の角度を調節する

■モニター

エンジンスイッチをON（本機の電源をON）にすると、モニターは自動で立ち上がります。立ち上がったモニターは、見やすいように角度を調節してください。

7



モニターアングルボタンを押す

- ▲ : 上向きにする
- ▼ : 下向きにする

ご注意

- 角度の調節は手動で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。

メモ

- 角度調節したモニターを次に立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

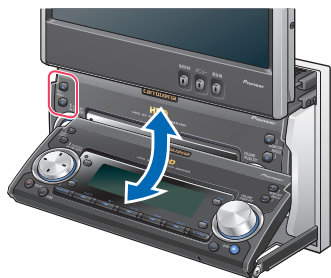
準備

画面の角度を調節する

■フロントパネル

フロントパネルの角度を調節して見やすくしたり、操作しやすくすることができます。

7



フラップアングルボタンを押す

- ▲ : フロントパネルを起こす(立てる)
- ▼ : フロントパネルを寝かせる(倒す)



手を挟まないよう注意

- 角度の調節は手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。
- フロントパネルの角度を調節するときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

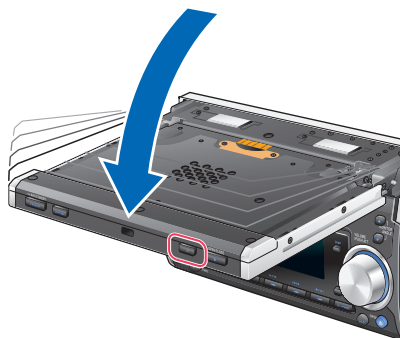


- フロントパネルの角度は7段階に調節できます。
- 車のエンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にすると、OFFにしてから約6秒後にフロントパネルが閉じます。もう一度車のエンジンスイッチをON(本機の電源をON)にすると、元の位置に戻ります。

モニターを一時的に手前に倒す

立ち上がったモニターで、エアコンなどのスイッチが隠れてしまった場合、モニターを一時的に手前に倒すことでスイッチが操作できます。

1



 **(一時可倒) を押す**

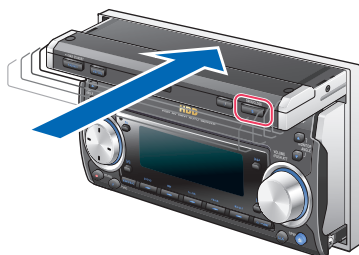
モニターが手前に倒れ、約10秒後に自動的に元に戻ります。

準備

モニターを開閉する

一時的にモニターを収納したいときや、モニターの自動開閉を「マニュアル」に設定(→『オーディオブック』)している場合など、モニターの開閉操作をします。

1



 **△(OPEN/CLOSE) を押す**

モニターを一時的に手前に倒す／モニターを開閉する

音量を調節する

本機の音量を調節する方法は、次のとおりです。
ナビゲーションの案内音量、操作音量の設定は、[編集・設定]メニューの「音量設定」で行います。
→詳しくは、『ナビゲーションブック』を参照してください。

ご注意

- 車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞かせください。

メモ

- 5.1ch DSPユニットの設定がONになっているときは、音量調節できません。

■音量調節のしかた

7



ボリュームを回して音量を調節する

右 : 音量を大きくするとき
左 : 音量を小さくするとき

ボリュームレバーまたは音量調節ボタンで音量を調節する

[+] : 音量を大きくするとき
[-] : 音量を小さくするとき

■音量を一時的に下げる

車内の会話が聞き取りにくいときなど、瞬時に音量を小さくすることができます。

7



ボリューム (ATTボタン) を押す

アッテネーター機能が働き、音量が約1/10になります。もう一度押すと、アッテネーター機能を解除します。

ここから操作します

基本的な操作のしかた

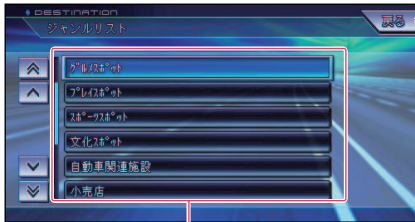
メニューから項目を選んで実行する、これが操作の基本です。

ご注意

- 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

■ タッチ操作とリモコン操作の表示

画面には、タッチ操作のみのボタンと、リモコンでも選ぶことのできるボタンの2種類があります。



銀色のタッチキーはタッチ操作のみです。リモコンでのカーソル移動による選択はできません。リモコンの場合は専用のボタン(戻る)などをお使いください。

黒いタッチキーは、タッチ操作とリモコン操作の両方で操作できます。

■ 画面の切り替えかた

ナビゲーション画面と、オーディオ・テレビ・DVDなどの画面を切り替えます。

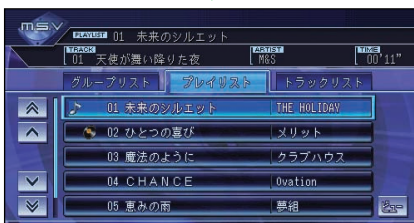
7



NAV/AV を押す

押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面→オーディオ・TV・DVDなどの画面→ナビゲーション画面に戻る



■スタートメニューを表示させる

ナビゲーションを利用するときは、**メニュー**を押してスタートメニューを表示させます。スタートメニューには、以下の3つがあります。

→各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』を参照してください。

【行き先・場所】 行き先を設定してルート案内を始めたり、場所を探して詳細情報の表示や登録などができます。

【情報・通信】 ドライブに役立つ各種情報の表示や、携帯電話やインターネットなどの利用ができます。

【編集・設定】 編集や各種設定ができます。

■メニューの操作

1

地図画面で**メニュー**を押す

【行き先・場所】メニューの1ページ目が表示されます。



行き先・場所 **情報・通信** **編集・設定**のタブにタッチする

【メモ】

- ユニバーサルパッドを左右に操作する。



行き先・場所メニューは2ページあります。**次ページ** **前ページ**を選んで表示を切り替えます。

3



メニュー項目を選んでタッチする

選んだ項目を実行する画面が表示されます。

【メモ】

- ユニバーサルパッドで項目を選び**決定**を押す。

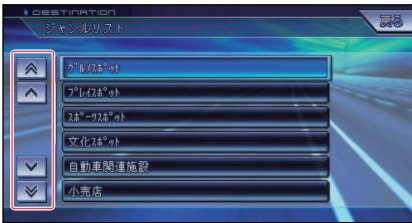
いろいろな画面の
操作のしかた

ナビゲーションやオーディオなどで表示される画面について、共通操作を説明します。

■リストの表示切り替えについて

共通操作

左横のキーにタッチしたり、リモコンの **別ルート**、**渋滞** を押ししたり、ユニバーサルパッドを操作することで、カーソルを移動したり、見えていない項目を表示させることができます。



カーソル送り: **▲**・**▼** にタッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作する

ページ送り: **▲**・**▼** にタッチするか、リモコンの **別ルート**、**渋滞** を押す

一つ前の画面に戻す:

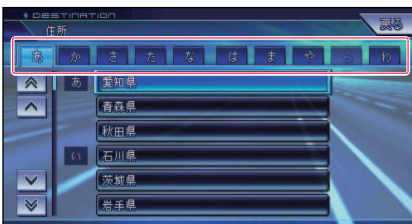
戻る にタッチするか、リモコンの **戻る** を押す

メモ

- ナビゲーションのリスト画面では、右側に地図が表示されるものがあります（サイドマップ）。→サイドマップの操作については、『ナビゲーションブック』を参照してください。

タブ付きリスト

地名やオーディオのリストなどでは、タブにタッチするか、ユニバーサルパッドを左/右に操作することで画面表示を切り替えることができます。行送りの場合は、「あ行」から「か行」、「さ行」のようにリスト表示を切り替えることができます。



タブ送り: タブにタッチするか、ユニバーサルパッドを左/右に操作する

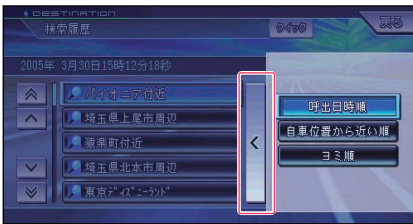
■サブメニューについて

項目を複数選択できるチェックタイプリストなどでは、サブメニューを持つものがあります。サブメニューを表示して、「全選択」・「全解除」したり、リスト項目を並べ替えたりすることができます。



サブメニューを開く：

▶にタッチするか、ユニバーサルパッドを右に操作する




サブメニューを閉じる：

◀にタッチするか、ユニバーサルパッドを左に操作する

メニュー項目の選択：

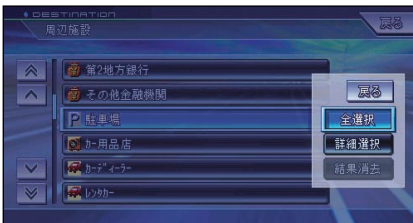
直接タッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作して選び(決定)を押す



- チェックタイプリストでは、項目を選択すると、チェックマークが表示されます。

■ポップアップメニューについて

リストの項目を選択するとポップアップメニューが表示されるものがあります。ポップアップメニューを表示して、機能を選択することができます。



メニュー項目の選択：

直接タッチするか、ユニバーサルパッドを上/下に操作して選び(決定)を押す

ショートカットメニューを表示させる

利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして割り当てられています。ショートカットメニューを使うと、通常のメニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく操作できます。

7

通常走行画面からのショートカットメニュー



(ショートカット)にタッチする



その場所に対するショートカットメニューが表示されます。



• (決定)を押す。

スクロール画面からのショートカットメニュー



- ショートカットメニューは現在地またはスクロールなど表示させた状態により、選択できる項目が変わります。
- ショートカットメニューの表示を解除するときは、 にタッチするか、リモコンの  を押します。

→各ショートカットメニュー項目の内容は『ナビゲーションブック』を参照してください。

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地を 表示させる

現在地 を押すと、自車の現在地周辺の地図を表示します。
現在地画面は、車の走行に合わせて自動的に動きます。

ナビゲーション


現在地画面

ノーマルビュー

現在地を表示させる



スケール表示

下の  がスケールの距離を示します（2D表示のみ）。



- 道幅5.5m未満の道路（細街路）以外を走行しているときは、細街路は表示されません。

地図の
動かしかた

地図を動かすには、地図上の見たい場所にタッチするか、ユニバーサルパッドを操作して見たい場所の方向にスクロールします。スクロールすると、自転車マークに替わって十字カーソルが表示されます。

スクロール画面



十字カーソル
画面の中心に表示されます。

現在地の方向
十字カーソル位置と現在地を結んだ線

現在地から十字カーソル位置までの直線距離

十字カーソル位置の地名
十字カーソル位置周辺の地名を示します。

ナビゲーション

地図の動かしかた

■ タッチで操作する場合



- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。
→『ナビゲーションブック』

7



画面にタッチする

カーソルが表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



- タッチし続けると、その方向にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。

リモコンで操作する場合



- 走行中にユニバーサルパッドを操作すると、自動で画面半分程スクロールします。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。→『ナビゲーションブック』

地図を動かしたい方向にあわせてユニバーサルパッドを操作する

ユニバーサルパッドを操作し続けている間、地図が動き続けます。

地図のスクロールを止めるにはユニバーサルパッドから指を離します。



ナビゲーション

地図の動かしかた

微調整する

1



微調整にタッチする

8方向のスクロール矢印が表示されます。



- **微調整**は、ノーマルビューの場合のみ表示されます。

2



表示を微調整する

矢印にタッチすることにより地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の場所をタッチしても地図が動きます。



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作する。



- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。

地図の縮小、
拡大

地図は10m～500kmスケールの15段階に縮小、拡大できます。→『ナビゲーションブック』

メモ

- 詳細市街地図収録エリアでは、地図のスケールが10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます。→『ナビゲーションブック』
- 駐車場マップ表示中は、4m、8mでのスケール変更ができます。

広域・詳細 タッチキーをタッチで操作する場合

1



スケール表示にタッチする

10m～1kmのスケールのボタンが表示されます。

2



広域 または 詳細 にタッチする

広域：地図をより広く見たいとき

詳細：地図をより詳しく見たいとき

詳細 にタッチする ↓ ↑ 広域 にタッチする

スケールバーが表示され、現在のスケールがわかります。

ボタンにタッチするごとに、スケールが変わります。

(例：10m ↔ 25m ↔ 50m ↔ 100m ↔ …)



スケールバー

現在のスケールを表示します。

メモ

- タッチキーにタッチし続けると、スケールは段階的に変わります(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

■ダイレクトスケールキーをタッチで操作する場合

ナビゲーション

地図の縮小、拡大

1



スケール表示にタッチする

2



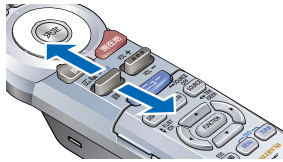
表示したいダイレクトスケールキーにタッチする



選んだスケールで表示されます。

リモコンで操作する場合

7



スケールレバーを[広域]側、または[詳細]側に倒す

[広域]：地図をより広く見たいとき

[詳細]：地図をより詳しく見たいとき



スケール表示の上にスケールバーが表示され、現在のスケールがわかります。スケールレバーを倒すごとに、スケールが変わります。

(例：10m ↔ 25m ↔ 50m ↔ 100m ↔ …)



- スケールレバーを倒し続けると、スケールは段階的に変わります(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

[詳細] 側に倒す ↓ ↑ [広域] 側に倒す



スケールバー
現在のスケールを表示します。

ナビゲーション

地図の縮小、拡大

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。
地図の表示方法は、5種類あります。



ノーマルビュー (2D表示)

通常の地図(平面の地図)で表示されます。



スカイビュー (3D表示)

上空から見ているような地図が表示されます。



ドライバースビュー (3D表示)

ドライバーの目線から見たような地図が表示されます。



ツインビュー (2画面表示)

画面を左右に2分割して地図が表示されます。



ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。

→各表示方法について、詳しくは『ナビゲーションブック』を参照してください。

1



ビュー

地図が表示されている状態で「ビュー」にタッチする

ビュー切り替えメニューが表示されます。

メモ

- 「ビュー」を押す。

2



表示方法を選んでタッチする

選択した表示方法で地図が表示されます。

メモ

- ユニバーサルパッドを左/右に操作して表示方法を選び「決定」を押す。

メモ

- ビュー切り替えメニューが表示されている間(約8秒間)に選んでください。
- ドライバースビューを選択しているときは、ソリッドシティマップ収録エリア走行中は自動的にソリッドシティマップになります。
- ハイウェイモードは、有料道路走行時以外は選ぶことができません。



自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

ご注意

- 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

自宅に いるときは

ここでは自宅にいるときに自宅を登録する方法を説明しています。

→自宅以外の場所にいるとき、自宅の場所を地図で探して登録する方法については、『ナビゲーションブック』を参照してください。

メモ

- 地図画面上で自転車マークが自宅の位置にあることを確認してください。
- すれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。
→「地図の動かし方」(P43)
- 自宅の登録後に自宅登録操作を行うと、自宅までのルート探索が始まります。
- 自宅の場所を変更したい場合は、→『ナビゲーションブック』

■ タッチで操作する場合

1



メニューを押す

[行き先・場所]メニューが表示されます。

2



自宅にタッチする

確認画面が表示されます。

3



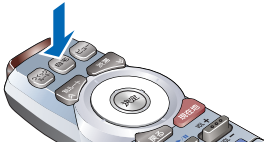
はいにタッチする

自宅が登録されます。

ナビゲーション

リモコン リモコンで操作する場合

1



自宅 を押す

確認画面が表示されます。

2



決定 を押す

自宅が登録されます。

自宅にいるときは

行き先を決めてルート案内させてみよう

スタートからゴールまでの流れ

1 目的地を検索しましょう

こんな検索方法があります

- 地図から探す
- [行き先・場所]メニューから探す
- クイックルート探索

2 目的地までのルートを設定しましょう

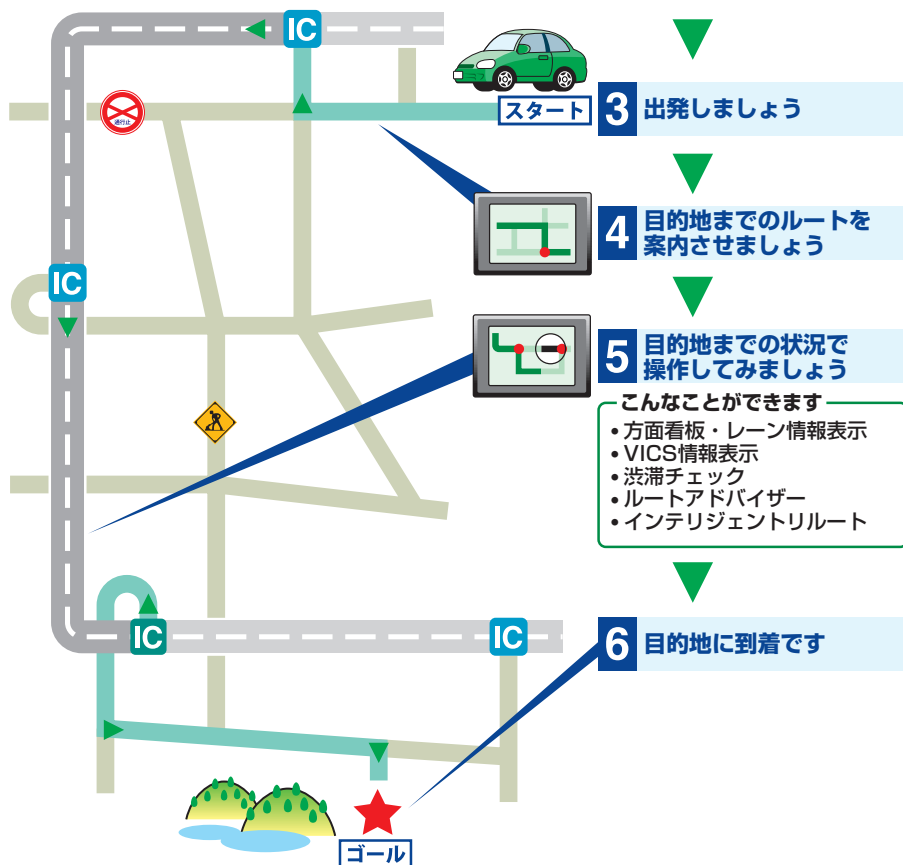
こんなルート設定ができます

- 6ルート同時探索
- 渋滞予測ルート探索
- 料金考慮ルート探索
- 立ち寄り地指定
- 乗り降りIC指定

1と2は出発前に実行しましょう

ナビゲーション

スタートからゴールまでの流れ



行き先を設定してルートを案内させる

行き先を地図上で探して簡単にルートを設定することができます(ルート探索)。
ルート探索が終了すると行き先までのルートが表示され、走行を開始するとルート案内が始まります。

メモ

- 地図をスクロールさせて行き先を探すこともできます。
→『ナビゲーションブック』

1



メニューを押す

[行き先・場所]メニューが表示されます。

2



お好みの方法で、行き先を探す

ショートカットメニューが表示されます。

3



ここへ行く にタッチする

行き先に旗マークが表示され、現在地から行き先までのルート探索が自動的に始まります。

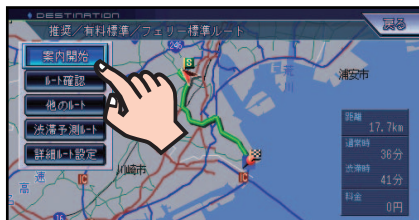
注意

- ユニバーサルパッドを上/下に操作して「ここへ行く」を選び(決定)を押す。

メモ

- 場所によってはルート探索ができない場合があります。目的地の位置を変えてください。

4



案内開始 にタッチする

行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)

【メモ】

- ユニバーサルパッドで **案内開始** を選び **(決定)** を押す。



→ **ルート確認 渋滞予測ルート**

詳細ルート設定 の操作については、『ナビゲーションブック』を参照してください。

5

出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

ご注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。



目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

メモ

- **案内開始** を操作しなくても、パーキングブレーキを解除すると、ルート案内が始まります。

渋滞情報を
確認する

案内中のルート上の渋滞情報（前方の渋滞箇所、渋滞箇所までの距離、渋滞の長さ、通過予想時間など）を文字表示と音声案内で確認することができます（渋滞チェック親切案内）。



- ルート案内中でない場合は、自転車周辺の規制情報が確認できます。
- 新しく受信したVICsの渋滞情報を、自動で案内するよう設定できます。
→詳しくは『ナビゲーションブック』を参照してください。

7



にタッチする



- 渋滞を押す。



文字案内プレートの表示と、音声案内で確認できます。

2



さらに  にタッチする

 (メモ)

- さらに  を押す。

次の渋滞箇所の情報を確認できます。

この手順を繰り返し、ルート上の前方5箇所まで情報を確認することができます。

3



現在地  を押す

文字案内プレートを消し、ルート案内中の通常画面に戻ります。

 (メモ)

- 文字案内プレートは、渋滞情報が更新されると消えます。

自宅に帰る
ルートを設定
して案内させる

自宅が登録されている場合は、ワンタッチで自宅に帰るルートを設定することができます。ルート探索が終了すると自宅までのルートが表示され、走行を開始するとルート案内が始まります。

■タッチで操作する場合

ナビゲーション

自宅に帰るルートを設定して案内させる

1



メニュー を押す

[行き先・場所]メニューが表示されます。

2



自宅 にタッチする

自宅に帰る最も効率のよいルートが、一本だけ探索されます。

メモ

- 案内中のルートがあるときは、確認メッセージが表示されます。
- 最も効率のよいルートは、ルート探索基準、有料道路使用条件によって異なります。→『ナビゲーションブック』



自宅までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)

3

出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

ご注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

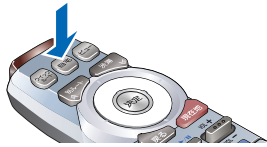
自宅付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

メモ

- 自宅まで複数のルートを探りたいときは、[行き先・場所]メニューの「登録地」から自宅を選んでください。→『ナビゲーションブック』

リモコンで操作する場合

1



地図画面が表示されている状態で「自宅」を押す

自宅に帰る最も効率のよいルートが、一本だけ探索されます。



- 案内中のルートがあるときは、確認メッセージが表示されます。
- 最も効率のよいルートは、ルート探索基準、有料道路使用条件によって異なります。→『ナビゲーションブック』

ナビゲーション

2

出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

ご注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。



自宅付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。



- 自宅まで複数のルートを探りたいときは、[行き先・場所]メニューの「登録地」から自宅を選んでください。→『ナビゲーションブック』

自宅に帰るルートを設定して案内させる

■ルート案内中の画面

目的地まで案内するルートが設定されている場合に表示されます。

ルート

設定したルートは、一般道路は明るい緑色（細街路はピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の交差点名称が表示されます。



ナビゲーション

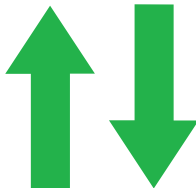
自宅に帰るルートを設定して案内させる

目的地の方向

現在地と目的地を結ぶ直線で表示されます。

現在地画面

交差点から離れると現在地画面に戻ります。



交差点に近づくと交差点案内画面に変わります。

レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。緑色で表示されたレーンが誘導レーンです。

交差点案内画面

次の案内地点の名称と、そこまでの距離、進行方向

目的地までの道のり距離と到着予想時刻



ウィンドウマップノーマルビューの地図が表示されます。

ランドマーク

信号や目印になるお店などが表示されます。

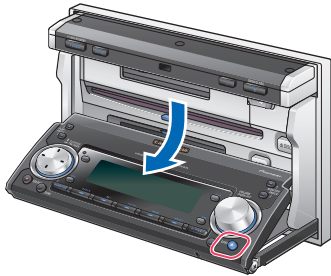
表示例：ドライバースビュー

ディスクの入れかた・取り出しかた

ご注意

- フロントパネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたフロントパネルに体が当たったりして、思わぬけがをするおそれがあります。
- フロントパネルが完全にオープン/クローズしないうちに、操作しないでください。操作した場合（CDなどを挿入、取り出しボタンを押す）安全のためフロントパネルがその角度で停止します。
- フロントパネルを開けたとき、フロントパネルにコップや缶などの物を置かないでください。フロントパネルが損傷するおそれがあります。
- フロントパネルにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくとは故障するおそれがあります。

1



OPEN を押す

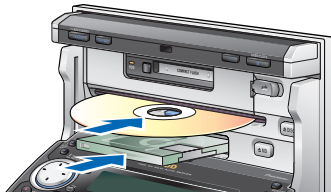
フロントパネルが開き、ディスクの挿入口があらわれます。



手を触れないよう注意

- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

2

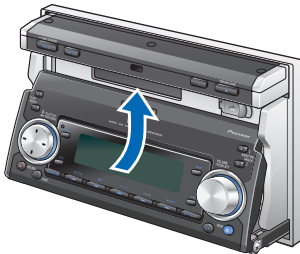


指定の挿入口にラベル面を上にしてディスクを差し込む

ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。

ディスクが奥まで挿入されると自動的にフロントパネルが閉じます。

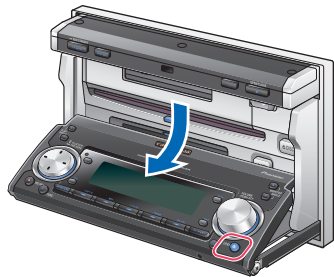
ふだんはフロントパネルを閉じたままお使いください。



ご注意

- 8cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ディスクの挿入口には、ディスク以外のものを入れないでください。

3



OPEN を押す

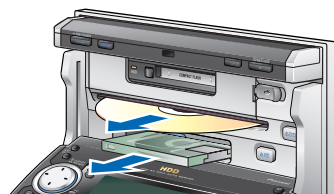
フロントパネルが開きます。



手を触れないよう注意

- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

4



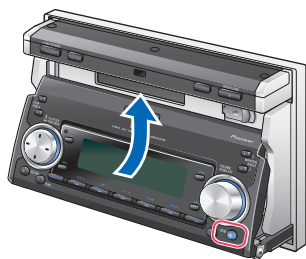
ディスク取り出しボタンまたは、**MD取り出しボタン**を押す

ディスクが自動的に押し出されます。

メモ

- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。

5



ディスクを挿入口から取り出し、 **OPEN** を押す

フロントパネルが閉じます。

オーディオ機能

ディスクの入れかた・取り出しかた

オーディオ・テレビ・DVDなどの切り替えかた

CDやWMA/MP3ディスク、ミュージックサーバー、テレビやラジオ、DVDやMDなどを切り替えると、画面にそれぞれの状態が表示されます。

■本体で操作する場合

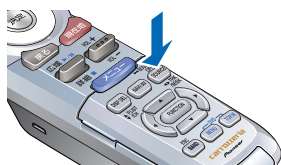
1

本体の各ボタンを押す

- DVD/CD** : DVDやCD、WMA/MP3、マルチCDなど、接続およびセットされたディスクのソースに切り替えます。
ディスク(DVD・CD・WMA/MP3)→マルチCD→OFF→ディスクに戻る
- MSV** : ミュージックサーバーに切り替えます。
MSV↔OFF
- TV/VTR** : テレビや[AV入力設定](→『オーディオブック』)で設定した外部機器(ビデオなど)に切り替えます。
TV→VTR1→VTR2→OFF→TVに戻る
- FM/AM** : ラジオの放送を受信します。
FM/AM→OFF→FM/AMに戻る
- MD/EXT** : MDや本機に接続したエクスターナルユニットに切り替えます。
MD→EXT1→EXT2→OFF→MDに戻る

■リモコンで操作する場合

1



SOURCE を押す

押すごとに、以下のように切り替わります。
DVD・CD・WMA/MP3→マルチCD→ミュージックサーバー→TV→VTR1→VTR2→FM/AM→MD→EXT1→EXT2→DVD・CD・WMA/MP3に戻る

SOURCE を長く押すとソースをOFFにします。

メモ

- 接続していないソースには切り替わりません。
- ディスクがセットされていないソースには切り替わりません。
- [AV入力設定](→『オーディオブック』)でVTR1をONまたはVTR2をONにしないと、VTR1またはVTR2に切り替わりません。
- VTR2をバックカメラとして使用している場合は、VTR2には切り替わりません。
- FMとAMは**BAND/ESC**で切り替えます。
- 非再生ディスクが挿入された場合は「再生できないディスクです。」と表示されます。
- EXT(エクスターナルユニット)とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品(将来発売される製品など)の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のEXT(エクスターナルユニット)をコントロールすることができます。
- AVIC-ZH990はMD再生機能を搭載していません。**MD/EXT** は **EXT** になります。

曲や放送局の切り替えかた

曲や放送局を切り替える基本的な方法を説明します。
→詳しい操作方法などについては、『オーディオブック』を参照してください。

7

リストから聴きたい曲や放送局を選ぶ



タッチで操作するとき

リストの聴きたい曲や放送局にタッチする



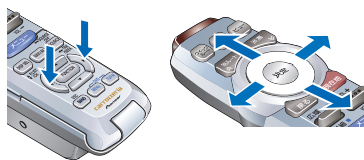
本体で操作するとき

◀ / ▶ を押す



ステアリングリモコンで操作するとき

◀ / ▶ を押す



リモコンで操作するとき

◀ / ▶ を押すかユニバーサルパッドを上下左右に操作し (決定) を押す

SOURCE を長く押すとソースをOFFにします。

メモ

- テレビの操作で、チャンネルリスト画面が表示されない場合は、画面にタッチしてください。

ミュージックサーバー (MSV)

CDなどを録音して本機内蔵のハードディスクにためておき、いろいろな方法で再生することができる機能です。

ミュージックサーバーには約200枚分*のCDを録音できます。お気に入りのCDを録音しておけば、CDを交換する手間がかからないため、連続再生をお楽しみいただけます。

*ミュージックサーバーに録音できる枚数はCDによって異なりますので、目安としてお考えください。

ミュージックサーバーのおもな機能は以下のとおりです。

→詳しくは『オーディオブック』を参照してください。

| | |
|-----------|--|
| 録音 | CDやテレビ、ラジオ、MDなどの音源を録音できます。CDは4倍速による同時録再、さらに裏録(録音中に他のソースを聴く)ができます。本機では、DVD、WMA/MP3ファイルなどのデータを、直接録音することは著作権上できません。ただし、WMA/MP3ファイルは、専用のソフトを使って、PC(パソコン)からデータを転送したり、メモリーカード経由で本機に転送したりすることができます。 |
| 再生 | 録音された音声を、ヒットチャートプレイやフィーリングプレイなどいろいろな方法で再生することができます。 |
| 編集 | 録音された音声について、曲名などの情報を登録したり、プレイリスト(曲の再生単位)などを編集することができます。 |

ミュージックサーバーに録音する

CDを挿入すると、自動的に4倍速でミュージックサーバーに録音されます。

メモ

- テレビ、ラジオなどのCD以外のソースを録音することもできます。また、CDの録音には、オート、マニュアル、シングルの3つの録音モードがあり、CD以外のソースは録音時間を指定して録音を行います。ミュージックサーバーの出荷時のCD録音モードはオートです。

→詳しくは、『オーディオブック』を参照してください。

録音中の画面について (例：オートモードの場合)



メモ

- 録音モードによって表示される画面が異なります。また、録音中にはいろいろな操作の制限や録音に関する注意事項があります。
→詳しくは『オーディオブック』を参照してください。
- CDの録音を途中で停止したい場合は、フロントパネルの[HDD REC]またはリモコンの[録音/削除]を押します。

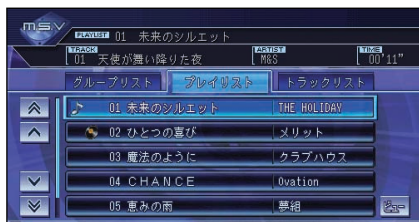
ミュージックサーバーを再生する

ミュージックサーバーのリストから、聴きたい曲を選んで再生する、基本的な方法を説明します。
→詳しい操作方法などについては、『オーディオブック』を参照してください。

1

NAVI/AV を押してオーディオ画面に切り替える

2



ソースをミュージックサーバーにする (→P61)

[グループリスト]、[プレイリスト]、[トラックリスト]を切り替えて、聴きたい曲を選びます。

音を調節する

本機は、オーディオの音をいろいろな機能で調節できます。あらかじめ用意された設定を切り替えたり、自分で調節したお好みの設定で聴くことができます。

→『オーディオブック』『AV設定』

グラフィック イコライザー

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選んで、切り替えできます。

7

本体の **EQ** を押す

ボタンを押すごとに以下のように切り替わります。

CLARITY→RHYTHM→SENSITIVE→NARROW→FLAT→
CUSTOM1→CUSTOM2→CLARITYに戻る

メモ

• イコライザーカーブはお好みに調節できます。→『オーディオブック』

SFC (サウンド フィールド コントロール)

あらかじめ用意された音場を選んで、切り替え
できます。

7

本体の **SFC** を押す

ボタンを押すごとに以下のように切り替わります。

Studio→Jazz club→Club→BBE→SFC OFF→Studioに戻る

メモ

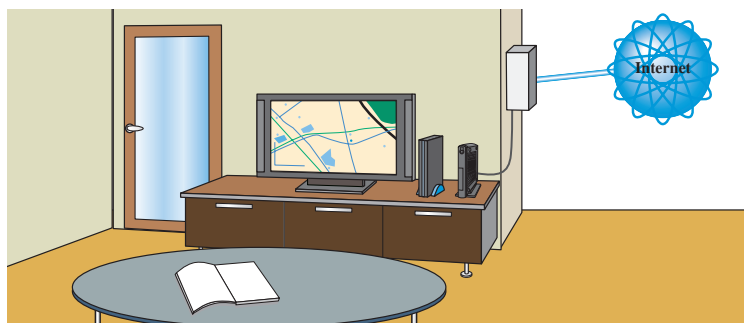
• BBEは[+][−]で調節できます。→『オーディオブック』

リビングキットについて

リビングキットとは、本機のブレイクユニット(ハードディスク内蔵)を取り出し、ご自宅でナビゲーションやミュージックサーバーなどの操作を行うためのキットです。また、ご自宅のパソコンとPCリンクソフトを使って、リビングキット内のブレイクユニットにWMA/MP3の音楽データを転送したり、登録地の編集をしたりすることもできます。

リビングキットは専用のリモコンで操作しますが、操作方法は車載時と同じです。

→リビングキットの接続や独特の操作など、リビングキットに関する事項は、リビングキットの取扱説明書を参照してください。



メモリー/通信カードの入れかた・取り出しかた

本機では、市販のCF型メモリーカードや通信カードが使用できます。メモリーカードを使用すると、デジタルカメラで撮影した画像を地図上に表示したり、登録地のデータなどを保存しておくことができます。

ご注意

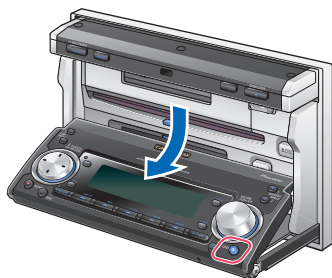
- 市販のCF型メモリーカード以外は使用できません。規格の異なるメモリーカードを差し込むと、カード挿入口が破損するなどの故障の原因となります。
- 専用のドライバソフトウェアが必要なカードは使用できません。
- カードは精密機器です。製品の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- 装着可能な記録媒体には保証できる温度が低いものが存在します。長時間の使用ではカードを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 長時間カードを装着して使用すると、カードが非常に熱くなる可能性がありますので注意してお取り扱いください。
- データの読み込みや書き込み中にカードを抜かないでください。データ転送中にカードが抜かれた場合、転送中のデータの内容は保証されません。
- 棒状のアンテナが付いているCF型通信カードをご使用される場合は、なるべくアンテナを水平にご使用ください。アンテナを真下に向くように通信カードを挿入するとフロントパネルと接触する場合があります。
- 厚み9mm以下のCF型カードをご使用ください。厚み9mm以上のCF型カードを使用すると、モニター底面などに接触する場合があります。

メモ

- CF型カードとは「コンパクトフラッシュ」型カードの略です。
- 「コンパクトフラッシュ」はサンディスクコーポレーションの登録商標です。
- メモリーカードにたくさんのファイルが保存されていると、動作が始まるまで時間がかかることがあります。

メモリーカード/通信カードの入れかた

7



OPEN を押す

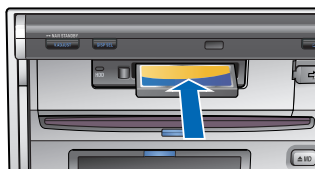
フロントパネルが開きます。



手を触れないよう注意

- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

2

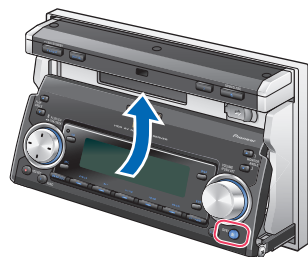


CF型カード挿入口にメモリーカードまたは通信カードを差し込む

メモ

- おもて面を上にして、カードに記載されている矢印の向きに差し込んでください。

3



カードが奥まで差し込まれたことを確認してから、もう一度 **OPEN** を押す

フロントパネルがCF型カード挿入口手前まで閉じます。

メモ

- カード挿入中は、フロントパネルは完全には閉じません。

付録

メモリーカード/通信カードの取り出しかた

1



[編集・設定]メニューを表示する(→P38)

2



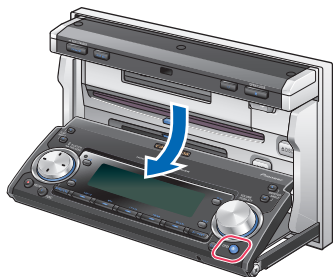
カード電源OFFにタッチする
メッセージが表示されます。

メモ

- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して **カード電源OFF** を選び(決定)を押す。

メモリーカード/通信カードの取り出しかた

3



OPEN を押す

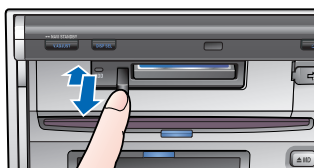
フロントパネルが開きます。



手を挟まないよう注意

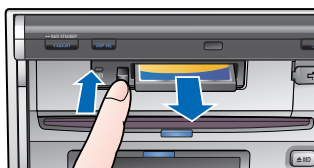
- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

4

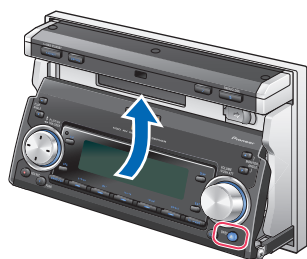


CF型カード取り出しボタンを押し、ボタンが出てきたら、もう一度押す

カードが出てきます。



5



カードを挿入口から取り出し、OPEN を押す

取り出したカードは、ケースに入れて保管してください。

リセットについて

■リセットが必要なとき

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

ご注意

- 本機は、リセットボタンを押すとフロントパネルの傾きが自動的に傾いていない状態に戻ります。リセットボタンを押すときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

■リセットすると消去される内容

- CD、WMA/MP3、MDの前回再生のトラック情報(どこまで再生したかなどの情報)
- テレビ、FM/AMのユーザープリセット
- オーディオ設定(別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせた場合は消去されません。)
- システム設定
「5.1ch DSPユニット」をONにしている場合は、リセットを押すとOFFになってしまうため、音声が出られなくなってしまいます。再度設定をONにしてください。
→『オーディオブック』

メモ

- 本機のリセットボタンを押しても、登録地点やルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されませんのでご安心ください。
- 別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせている場合は、リセットボタンを押してもオーディオ設定は消去されません。

■リセットのしかた

1



ボールペンの先などで、本機のリセットボタンを押す

モニター、フロントパネルの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出ることがあります。
- モニターは次の温度範囲内でお使いください。
使用温度範囲：-10度～+50度
保存温度範囲：-20度～+80度
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、モニターの液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。



- モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、モニターの液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 本機を使用していないときは、モニターやフロントパネルを閉じた状態にしてください。
- モニターやフロントパネルの角度調節や開閉を手動で行ったりしないでください。モニターやフロントパネルに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターやフロントパネルの角度調節や開閉をするときに、物をはさまないように注意してください。物がはさまると、モニターやフロントパネルが動かなくなることがあります。モニターやフロントパネルが動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いて開閉操作をしてください。

モニターの液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)がでることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

モニターの液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。

- 蛍光管は約1万時間お使いになると寿命になります。(寒いところでお使いになると、寿命が短くなることがあります)
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

お手入れについて

- モニターの液晶画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ったから、柔らかい布でから拭きしてください。
- モニターの液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 下記マークのついたディスクをご使用ください。

DVDビデオ



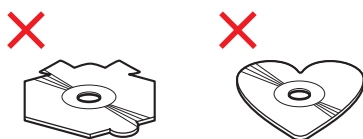
CD



- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- ディスクを持つときは、記録面(虹色に光っている面)を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。

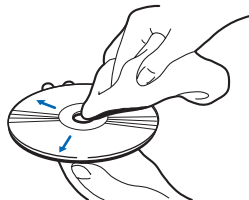


メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。
- 再生できるディスクの種類やファイル形式などについて、詳しくは『オーディオブック』を参照してください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

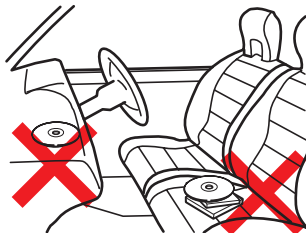


- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り替えが遅くなることがあります)
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

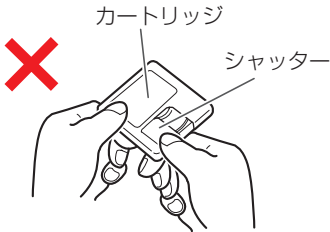
- 下記マークの付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



- 長時間録音されているMDも再生できます。
- 音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

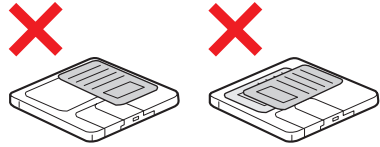
取り扱い上のご注意

- MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。

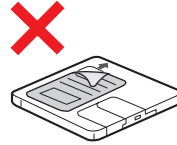


ラベルについて

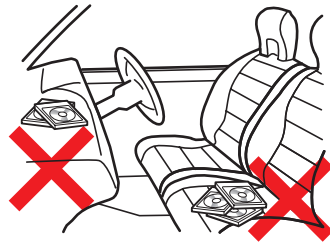
- MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



- ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに張り替えてからお使いください。



- MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



お手入れについて

- MDカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。
- MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



- MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

寒いときの結露について

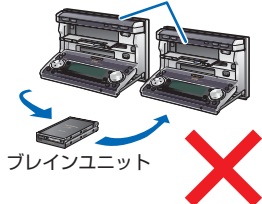
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができなくなることがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

ブレインユニットの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

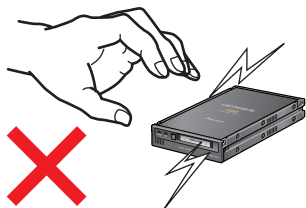
- ブレインユニットはご購入いただきました製品本体以外では使用しないでください。正しく動作しなかったり起動しない場合があります。

HDD AVナビオートサーバー（またはHDDナビゲーションオートサーバー）

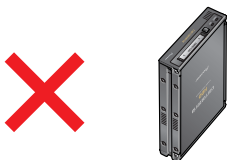


ブレインユニット

- ブレインユニットはキャリングケースに入れ車の中にお持ち込みください。ブレインユニットをキャリングケースから取り出して持ち歩くと、思わぬ衝撃や静電気などにより破損することがあります。
- ブレインユニット後面の端子部には触れないでください。端子部に触れると静電気により破損することがあります。



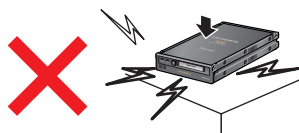
- ブレインユニットを立てて置かないでください。ブレインユニットは、立てた状態から倒れただけの衝撃でも、破損することがあります。



- ブレインユニットの上下に物を置かないでください。ブレインユニットに衝撃や重みなどが加わり、破損することがあります。



- ブレインユニットを落とさないでください。ブレインユニットは、シートやクッションなどの柔らかい物の上にも落とし、破損することがあります。



- ぬれた手でブレインユニットに触れないでください。破損することがあります。

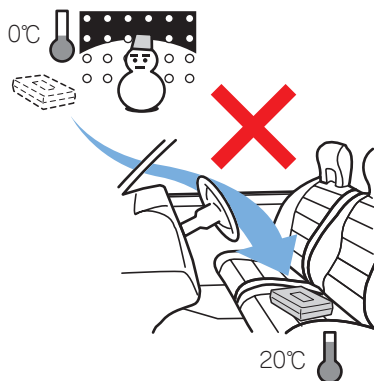


保管上のご注意

- ブレインユニットを次のような場所に置かないでください。(破損の原因となります)
- * 直射日光のあたる所 (ダッシュボードなど)
- * 外気が直接あたる所 (屋外など)
- * 湿気が多い所や少ない所 (浴室や乾燥室など)
- * 極端に暑い所や寒い所 (保温庫や冷蔵庫の中など)
- * 固有の振動が継続する所 (冷蔵庫の上など)
- * チリやホコリの多い所 (床など)
- * 油煙、蒸気、熱があたる所 (台所など)
- * 水のかかる場所 (屋外など)
- * 熱風や冷風があたる所 (エアコンの吹出口など)
- * 磁気のある所 (磁石の近くやテレビの上など)

動作環境について

- 寒いときなどに、ヒーターの入った車内にブレインユニットを持ち込みますと、ブレインユニットの内部に露が生じて正常に動作できない可能性があります。また故障の原因ともなりますので、このような環境下では、ブレインユニットをすぐにキャリングケースから取り出さず、車内の温度に慣らしてから取り出してください。



故障かな？と思ったら

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。(「ナビゲーションブック」,「オーディオブック」の「故障かな？と思ったら」もご覧ください。)

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。
→「リセットについて」(P70)

それでも直らないときは

「お客様登録とアフターサービス」(→P84)をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

■電源が入らない、動作しない

| 原因 | 処置 |
|---------------------------|--|
| 各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。 | 正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。→『取付説明書』 |
| ヒューズが切れている。 | ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『取付説明書』 |
| ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。 | リセットボタンを押してください。 →「リセットについて」(P70) |
| ブレインユニットカバーが開いている。 | ブレインユニットカバーを閉じてください。 →「準備をしましょう」(P26) |

■リモコンで操作できない、操作に合った正しい動作をしない

| 原因 | 処置 |
|-------------------------|---|
| 電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。 | 正しく入れてください。 →「準備をしましょう」(P24) |
| リモコンを、足元やシートに向けて操作している。 | リモコン受光部に向けて操作してください。 →「お使いになる前に」(P21) |
| リモコン受光部に直射日光が当たっている。 | リモコン受光部に近づけて操作してください。 →「お使いになる前に」(P21) |
| 電池が消耗している。 | 新しい電池に交換してください。 →「準備をしましょう」(P24) |

■エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする

| 原因 | 処置 |
|--------------------|----------|
| 本機がディスクの有無を確認している。 | 正常な動作です。 |

■映像が出ない

| 原因 | 処置 |
|------------------------|---------------------------------------|
| パーキングブレーキコードが接続されていない。 | パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 |
| パーキングブレーキをかけていない。 | →『取付説明書』 |
| ナビスタンバイ状態になっている。 | スタンバイ状態を解除してください。 →「準備をしましょう」(P31) |

■音が出ない

| 原因 | 処置 |
|--|---|
| 音量が0になっている。 | 音量を上げてください。 本機に5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。 |
| システム設定の 5.1ch DSPユニット の設定が間違っている。 | 5.1ch DSPユニット を正しく設定してください。→『オーディオブック』 |
| 接続が間違っている。 | 接続を確認してください。→『取付説明書』 |
| ガイドスピーカー接続端子を接続していない。 | |

■音が小さい

| 原因 | 処置 |
|-------------------|---|
| 音量を下げています。 | 音量を上げてください。 本機に5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。 |
| アッテネーターがONになっている。 | アッテネーターを解除してください。 →『オーディオブック』 |

■音や映像がとぶ

| 原因 | 処置 |
|-------------------------|---------------------------------|
| ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。 | ナビゲーション本体をしっかり固定してください。→『取付説明書』 |

■液晶画面が暗い

| 原因 | 処置 |
|-----------------|---|
| 「明るさ」の調節が適切でない。 | 「明るさ」を調節してください。 →『オーディオブック』 |
| 車内の温度が低い。 | 液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。 |

ナビゲーション

■自車位置を測位できない、測位誤差が大きい

| 原因 | 処置 |
|---------------------------|---|
| 簡易ハイブリッドシステムになっている。 | 簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。 |
| GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。 | GPSアンテナの上には何も置かないでください。ワイパーなど電波をさえぎる物があるときは、GPSアンテナの位置を変えてください。 |
| GPS受信感度が低い。 | GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。 車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。→『取付説明書』 |
| 車速パルスが正しく入力されていない。 | 取付け状態画面で、接続を確認してください。 →『取付説明書』 |
| ハイダウェイユニットがしっかり固定されていない。 | 取付け状態画面で取付位置の項目を確認してください。→『取付説明書』 |

DVD

■再生できない

| 原因 | 処置 |
|--------------------------|--|
| ディスクが汚れている。 | 汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの正しい使いかた」(P72) |
| 本機で再生できない種類のディスクが入っている。 | ディスクを確認してください。 →「ディスクの正しい使いかた」(P72) |
| PAL方式のディスクを挿入している。 | NTSC方式のディスクに交換してください。 |
| 本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。 | 本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。 |

CD、WMA/MP3

■再生できない

| 原因 | 処置 |
|-------------------------|--|
| ディスクが汚れている。 | 汚れを拭き取ってください。 →「ディスクの正しい使いかた」(P72) |
| 本機で再生できない種類のディスクが入っている。 | ディスクを確認してください。 →「ディスクの正しい使いかた」(P72) |

MD(AVIC-ZH990MD)

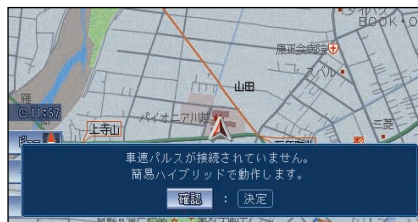
■再生できない

| 原因 | 処置 |
|--------------------|---|
| MDが汚れている。 | MDを交換してください。 |
| MDが正しい向きで挿入されていない。 | MDを取り出して正しい向きに挿入してください。 →「ディスクの入れかた・取り出しかた」(P59) |

3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ

3Dハイブリッドセンサーは自車位置を高精度に測位するための機能の一つです。本機をはじめてお使いになるとき、3Dハイブリッドセンサーは初期学習を始めます。

初期学習が正しくできなかった場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、以下の内容を参照して対処してください。

■ 走行開始後のエラーメッセージ

- **【車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。】**
『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)を接続してください。正しく接続した後、「学習状態」のリセットを行い、3Dハイブリッドで初期学習をやり直します。
- **【3Dハイブリッドセンサーが正常に動作していません。ハイダウェイユニットの取付け角度や向きを確認後、決定を押してください。取付けが正常な場合は、販売店またはサービスステーションに御相談ください。】**
『取付説明書』を参照して、ハイダウェイユニットの取付け角度や向きが間違っていないか確認してください。取付けが正しい場合は、内蔵センサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- **【車速パルス信号が異常です。接続を確認してください。】**
『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

■その他のエラーメッセージ

- [内蔵のセンサーが異常です。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]
内蔵のセンサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- [測位不能になりました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]
ハードウェアの故障、劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- [GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]
- [GPSアンテナが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]
GPSアンテナの接続を確認してください。
正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。
- [車速信号線が外れました。接続を確認してください。]
ピンクリード線(車速信号入力)の接続を確認してください。
- [取付け位置の変化を検出しました。センサーの再学習を開始します。]
ハイダウェイユニットの取付け位置の変化を自動で検出したことのお知らせするメッセージです。

お客様登録とアフターサービス

お客様登録 について

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」の返送もしくはインターネット登録による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ではございますが必ず登録手続きを行ってくださいますようお願いいたします。

登録方法

①「保証書発行兼お客様登録カード」の返送によるご登録

同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」に住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード③」を弊社まで返送してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。

② インターネットによるご登録

弊社で登録専用ホームページにアクセスし、住所、お名前、電話番号およびアンケートに必要事項をご記入のうえ送信してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に入力してください。

なお、インターネット登録のお客様は修理の際に、郵送される保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」を一緒に提示していただきますので大切に保管願います。

ご登録専用ホームページ

<https://www.3.pioneer.co.jp/members/navi/>

保証書発行 について

■保証書のお届けについて

ご登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。

保証書のお届けには3週間ほどかかります。

ご登録いただけない場合は、保証書の発行ができません。

■保証書お届けまでに故障が発生した場合

「保証書発行兼お客様登録カードお客様控②」は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

■インターネット登録の場合

インターネット登録のお客様は登録後、郵送された保証書と「保証書発行兼お客様登録カード③」をあわせてご提示いただきますので大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、次ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

ご質問・ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

 0070-800-8181-11(フリーフォン)

TEL 03-5496-8016(一般電話)

なお、登録内容の変更はホームページからも行えますのであわせてご利用くださいますようお願いいたします。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

無料修理規定

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
 3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
 4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
 5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
 - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換。
 - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
 6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- * 保証書は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- * 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

お客様の個人情報について

- お客様の個人情報は、下記の目的のために利用させていただきます。
- 商品創りのための統計的分析（個人を識別・特定できない形態に加工した統計データとして使用）
 - ご登録いただいた商品に関する重要なお知らせのご連絡
 - 新製品、バージョンアップなどに関するご案内（ご案内の送付に同意いただいた方のみ）
 - アンケート実施のご案内（アンケート協力に同意いただいた方のみ）
- ※尚、お客様から収集する個人情報は弊社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。

仕様

◆共通部

最大消費電流：15A
使用電圧：DC14.4V(10.8~15.1V使用可能)

◆GPS部

受信方式：
12チャンネルマルチチャンネル受信方式

◆オーディオ部

最大出力：50W×4
負荷インピーダンス：4Ω(4~8Ω使用可能)
プリアウト最大出力レベル：1.8V/1kΩ
イコライザー(13バンドグラフィック)：
[周波数(F+R+S)] 50/80/125/200/
315/500/800Hz/1.25k/2k/3.15k/
5k/8k/12.5kHz
[調整幅] マニュアル：±12dB(2dB)、
オート：12dB~+6dB(2dB)

ネットワーク：

[ハイパスフィルター周波数(F+R)]
50/63/80/100/125/160/200Hz
[スロープ] -12、-6、0(スルー)dB/oct.
[調整幅] -24dB~0dB、MUTE(1dB)

サブウーファー出力：

[周波数] 50/63/80/100/125/160/200Hz
[スロープ] -18、-12、-6dB/oct.
[調整幅] -24dB~+6dB(1dB)
[位相] NOR/REV

◆DVDプレーヤー部

リージョンNo：2
対応ディスク：
DVDビデオ、DVD-R/RW(video mode)、
CD-ROM、CD-DA、CD-R/RW
MP3デコーディングフォーマット：
MPEG-1&2 AUDIO LAYER-3
WMAデコーディングフォーマット：
Ver.7&8

◆MDプレーヤー部 (AVIC-ZH990MD)

再生方式：ATRAC (SP)、
ATRAC3 (LP2、LP4)

◆FMチューナー部

受信周波数帯域：76.1~89.9MHz
音声：ステレオ

◆AMチューナー部

受信周波数帯域：522~1,629kHz
音声：モノラル

◆TVチューナー部

受信チャンネル：VHF1~12ch/
UHF13~62ch
音声：ステレオ/音声多重
外部映像入力レベル：1Vp-p/75Ω
外部音声最大入力レベル：1.5V/22kΩ
アンテナ入力：4chダイバーシティ

◆モニター部

画面サイズ：7.0インチワイド
画素数：336,960画素(234×1,440)
方式：TFTアクティブマトリクス方式
使用温度範囲：-10~+50℃
保存温度範囲：-20~+80℃

◆フィルムアンテナ

使用電源：DC8V
最大消費電流：70mA
出力端子：φ3.5ミニプラグ×3+JASO×1

◆リビングキット

使用電圧：DC12V
最大消費電流：1.5A
ACアダプター：AC100V 50/60Hz

◆外形寸法

本体取付寸法：
178(W)×100(H)×165(D)mm
本体ノーズ寸法：
170(W)×94(H)×27(D)mm
ハイダウエイユニット：
178(W)×30(H)×157(D)mm
リモコン：
40(W)×157(H)×30(D)mm
ステアリングリモコン：
38(W)×67(H)×18(D)mm
GPSアンテナ：
33(W)×36(H)×14(D)mm
フィルムアンテナ：
104(W)×362(H)×0.4(D)(セパレータ
含む)mm
リビングキット：
180(W)×204(H)×37(D)mm
リビングキット用リモコン：
48(W)×107(H)×10(D)mm

◆質量

本体：3.7kg
 ハイダウェイユニット：756g
 リビングキット：1.2kg(ACアダプター含む)

◆付属品

フィルムアンテナ：1式
 リモコン：1
 単4型アルカリ乾電池(LR03)：2
 ステアリングリモコン：1
 リチウム電池(CR2032)：1
 リビングキット：1
 リビングキット用リモコン：1
 リチウム電池(CR2025)：1
 音声認識用マイク：1
 音響特性測定用マイク：1
 取付キット：一式*1
 コード類：一式*1
 スタートブック：1
 オーディオブック：1
 ナビゲーションブック：1
 リビングキット取扱説明書：1
 取付説明書：1
 安全上のご注意：1
 ご相談窓口・修理窓口のご案内：1
 VICSサービス契約約款：1
 保証書発行兼お客様登録カード：1*2

※1 取付キットおよびコード類の詳細につきましては、『取付説明書』をご覧ください。
 ※2 保証書につきましては、「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送またはインターネットのご登録による発行となります。

◆その他、商標・著作権等

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。
 認証番号：A04-0215001
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



- DTSは米国Digital Theater Systems.Incの登録商標です。



- 本製品は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- MP3とはMPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。*営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

- Windows Media™のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



- 「Gracernote」及び「CDDDB」は米国グレースノート社の登録商標です。「Gracernote」のロゴ及びロゴタイプ、「CDDDB」のロゴ及びロゴタイプ、及び「Powered by Gracernote」のロゴは、米国グレースノート社の商標です。



※Gracernoteの概要、特許及び商標、エンドユーザー使用許諾書については『オーディオブック』に記載されています。

- FOMA/フォーマは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。
- cdmaOneはCDG (CDMA Development Group)の登録商標です。
- CFカードは「コンパクトフラッシュ」型カードの略です。
- コンパクトフラッシュはサンディスクコーポレーションの登録商標です。
- は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- 本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- 本製品のインターネット機能は株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。Copyright©1996-2001 ACCESS CO.,LTD NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

株式会社ACCESS NetFront®

- この製品はBBEサウンドインコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound,Inc.の登録商標です。
- その他、製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

スタートブック

AVIC-ZH990MD/ZH990

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

●パイオニアホームページ：お客様サポート <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>
（商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからのご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～17：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

- カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口
： ☎ **0070-800-8181-11**
： 【一般電話】 **03-5496-8016**
- ファックス受付
： **03-3490-5718**

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付 月曜～金曜 9：30～12：00、13：00～17：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-817-088**

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81095**
： 【一般電話】 **0538-43-1161**
ファックス : ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

- お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81028**
： 【一般電話】 **03-5496-2023**
ファックス : ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**
ファックス : **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2005

< KSKFF > < 05D00000 > < CRA3754-A >